

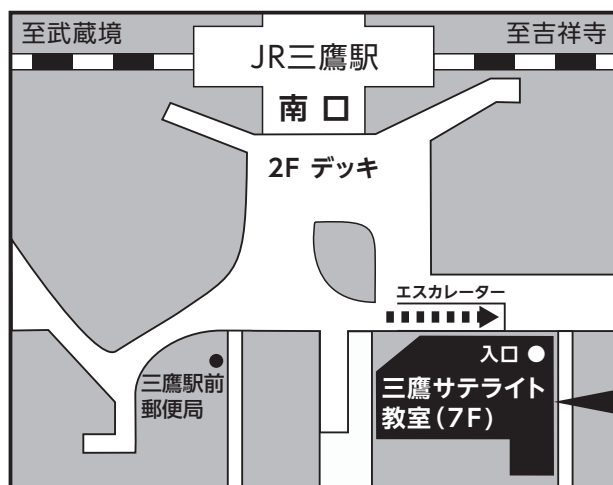
漢詩を読む

— 古詩を主として —

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	_____				
講座概要	曜 日	水曜日			日 程 7月19日 8月9・30日 9月13・27日
	時 間	13:00～14:30			
	回 数	全5回	定 員	40名	
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室			
講 師	元國學院大學 講師 小笠原 博慧 (おがさわら ひろとし)				
	1941年生まれ。1965年、私立高校教諭(漢文)。1974年、公立高校教諭(国語)。1994年、武蔵野女子学院高校教頭。1999年、同中学・高校校長。その間1975年、國學院大學講師(漢文学)。1982年、市立大月短期大学講師(文学、日本語)。1988年、武蔵野女子大学講師(仏教学、日本仏教史)。同大学仏教文化研究所所員。1988年、福泉寺住職。				
内 容	古詩というのは、古代から漢・魏・晋・南北朝を経て隋代に至るまでのものをいう。 BC5世紀の『詩経』の詩とBC3世紀の『楚辞』のなかで、屈原・宋玉の詩文が、秦代以降の詩の作成につながりその基となった。 今回の講義内容は、“古逸”と称される古詩、『楚辞』の二篇と秦末から漢代までの詩篇を対象とする。 とくに、唐代に定型詩が完成する以前の、自由闊達な表現と内容を味わってみたい。また時代の大きな変化のなかで、為政者もそれに従う者も、素朴ではあっても思い感ずることを遺憾なく詠み切っているところの特色を読みごたえ十分なものとして扱えるところが魅力である。時代と詩はまだ続いていく。				
	① 7月19日：古詩 (古逸と称される詩) ② 8月 9日：『楚辞』より 屈原「漁父辞」宋玉「九辯」 ③ 8月30日：前漢の詩① (高祖・武帝・項羽など) ④ 9月13日：前漢の詩② (王昭君など) 楽府① ⑤ 9月27日：楽府②				



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。